ふみびと

第２５７号
発行所
文通村事務局
編集　広報部
千葉県成田市

手紙に向かう夏の夜の一息

『わからない』の姿勢

仕事や部活、スポーツや習い事、ちょっとした習慣まで、ひとつのことを続けるということは口で言うよりもずっと難しいもの。自分が何年、あるいは何十年と続けてきたことが何かあるかと思い返してみると、意外と見つからないものです。

先日、ニュースのスポーツコーナーで取り上げられていた一人の偉大なサッカー選手の半生。きっと誰もが名前くらいは知っているであろうその選手の名前は三浦知良選手。

平均引退年齢26歳というプロサッカーの世界で、53歳にして未だに現役選手として活躍している、正に「レジェンド」。そんな三浦選手がインタビューで語っていたことの中でハッとさせられたのが、この一言。

「未だにサッカーのことはわからない」

サッカーを始めて数十年。現役選手の中で誰よりもサッカーを知っているはずの男のその言葉は、大変な重みを感じました。

まだわからないことがあるとわかること。それがまだ続けよう、もっと努力しようという終わりのない向上心に繋がっているような気がします。

何年か同じ仕事をしていると、仕事を少しずつわかってきたような気がしてくるもの。

三浦選手の言葉は謙虚な姿勢かもしれないけれど、長年同じことを続けている人にしか見えない境地なのかもしれません。

「わからない」と言うことがなくなって一人前だと思っていたのは半人前の頃。

「わからない」と言えるようになるまでひとつのことを続けていきたいものです。

「わからない」人にしか見えない景色。それがほんの少し見えるようになるまでは。

表情

職場で新人教育を担当している友人が、今年は人の名前を覚えるのが大変だったと言っていた。マスクのせいで相手の顔がよくわからなくて、と。それを聞き、なるほど口元というのは、その面積以上にその人らしさを示す重要な部分なのだなと思った。

「でも、だんだんと顔以外から情報を得る技術が上がってきた」とも友人は言う。声や仕草、姿勢などから素早く誰だかわかるようになってきたそうだ。それを聞き、人間は新しい環境に適応するために思わぬ能力を高めるものなのだなと、再びなるほどと思った。

どんな環境でも楽しみを見つけたり、新しい能力を伸ばすのだから、人の適応力というのはすごいものだ。そう感心すると同時に、当たり前のように誰かの顔を判断し、表情を見てコミュニケーションをとっていた環境をこのまま失いたくはないと強く思った。

次回発送日

次回の発送日

８月の発送日は通常通り31日を予定しております。送りたいお手紙がある場合には、２日前の29日までに事務局に到着することを確認の上、余裕をもってポストに投函してください。

★新規ご入村者情報

現在、新規ご入村者情報はウェブ上からご覧いただいておりますが、紙媒体での配布をご希望の方はお気軽に事務局までお問い合わせ下さい。また、ウェブ上のマイページはおススメ村人が表示されるので是非ご活用下さい。

風にゆられて誰かに届け！

風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。

誰に届くかは風次第…。送り方は簡単♪下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あとは、事務局宛の返信用封筒に同封下さい。今までにない交流の始まりです。